

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.12
2013.11



病院の理念

私たちは、安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努めます

病院の基本方針

- 1.患者の皆様を尊重した医療
・温かく思いやりのある医療を提供し、医療倫理の向上をめざします。
- 2.高度医療の提供
・医学、歯学の専門診療科が協力し、総合的で高度な医療を提供します。
- 3.地域医療への貢献
・地域の基幹医療施設として、病診連携の充実を図ります。
- 4.痛みのわかる医療人の育成
・人間性豊かで有能な医療人の育成に努めます。

本院の特色 ～歯科・医科連携～

安心安全な医療をお届けするために歯科と医科との連携が大切です。その点、本院は歯科医師と医師との連携が密で、お互いに協力しやすい環境です。

また、医師と連携するためには、歯科医師にも医学の専門的な知識が必要です。そこで本院では全国に先駆けて、『口腔医学』を提唱し、歯科学生の医学教育に力を入れています。

そこで今回から本院での歯科・医科連携の実際を紹介いたします。

安心安全の方程式は 歯科＋医科＝口腔医学



オーラルくん

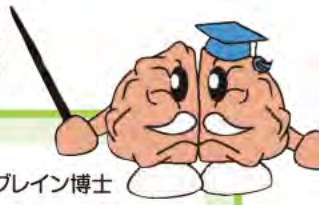
歯科医と 医師との協力の 例として

- 骨粗鬆症患者の抜歯における整形外科と口腔外科の協力
- 歯周病治療による糖尿病の改善
- 小児の発熱における小児科と小児歯科の協力
- 蓄膿症における耳鼻科と口腔外科の協力
- 高齢者歯科の口腔ケアによる肺炎予防
- 舌痛に対する口腔外科、麻酔科、心療内科の協力
- 口臭についての口臭外来と消化器外科の協力
- ドライマウスとドライアイ＝眼科と口腔外科



ストマックくん

パート1 今回は、歯科・医科連携の一例として、骨粗鬆症をご紹介します。



ブレイン博士

医

骨粗鬆症とは？

～骨粗鬆症の予防と治療で寝たきりを防ぎましょう！～

整形外科教授 井上 敏生

骨粗鬆症とは、骨がスカスカとなり、もろくなる病気です。わずかな衝撃で骨折が起こりやすくなります。**寝たきりの原因として脳卒中、老衰に続くものです。**

骨粗鬆症の原因には、①加齢によるもの、②更年期と閉経によるもの、③過度のダイエットによる栄養不足によるもの、④他の病気や薬によるもの（例えば、関節リウマチ、寝たきり、副腎皮質ホルモン（ステロイド）の服用など）があります。

骨粗鬆症の診断は、背中の疼痛、背中が曲がる、身長の低下、軽微な外力によって簡単に骨折してしまう、などの症状と合わせて、骨密度測定や血液検査・尿検査でなされます。

大切なのは骨粗鬆症の予防です。カルシウム、ビタミンD、ビタミンK、タンパク質が不足しないような食事が大事です。また、ウォーキング、ジョギングなど、体重をかける運動が骨密度増加のために必要です。日光浴もカルシウム吸収に必要なビタミンの合成を高めます。

骨粗鬆症の治療には主にお薬を使います。

- ・ビスフォスフォネート（表1）…治療の第一選択薬です。内服薬が主流ですが、注射薬もあります。骨の吸収を抑えます。
歯科治療の際に、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死予防のため、休薬が必要となることがあります。
- ・活性化ビタミンD3…腸からのカルシウムの吸収を促進します。ビスフォスフォネートとの併用が有効です。
- ・副甲状腺ホルモン…骨の形成を促進します。上限量が決まっており、長期には使えません。
- ・その他各種薬剤…上記以外の薬剤で、病状等により選択肢があります。

整形外科では、骨密度測定、必要に応じて血液・尿検査、投薬治療、体操指導（運動器の機能低下に対し）、さらに、骨折をした場合の治療を行います。また、歯科治療の際の投薬の相談にも応じます。



背骨の断面。正常（左）と骨粗鬆症（右）（骨粗鬆射団HPより）

表1 現在よく使われているビスフォスフォネート薬の一覧

内服薬	タイドロネル、アクトネル、ベネット、 フォサマック、ボナロン、リカルボン、ポノテオ
注射薬	ボナロン、ゾメタ



歯

骨粗鬆症と抜歯

口腔外科教授 池邊 哲郎

ビスフォスフォネートというお薬を服用している骨粗鬆症患者さんを抜歯した後に、傷の治りが悪く、抜いた歯の周りの歯槽骨が腐って、歯ぐきから露出してくることがあります。「顎骨壊死」という病気です。2003年に米国で初めて報告された新しい病気です。

骨粗鬆症の患者さんに抜歯後「顎骨壊死」が発症する頻度は1000人～1万人に1人ぐらいと考えられます。我が国が2006年～2008年にアンケート調査した際は、63症例の「顎骨壊死」が報告され、そのうち39.5%が骨粗鬆症患者さんでした。

頻度は少ないのですが、発症するとなかなか治りません。そこで、骨粗鬆症の患者さんの抜歯をする前に、お薬を処方している整形外科の先生と相談することが大切になります。

整形外科の先生にお願いして、骨粗鬆症のお薬を3か月以上休薬していただいた後に抜歯をすることもあります。また、骨粗鬆症のお薬をこれから飲み始める方は、飲む前に歯科治療することが大切です。**ビスフォスフォネートというお薬は骨粗鬆症による骨折の予防に大変良いお薬です。患者さんのために、歯科と整形外科との連携が重要なのです。**



顎骨壊死の例
抜歯後、歯ぐきから腐った骨が露出しています。



ハートちゃん

インフルエンザの季節になりました!

小児科教授 岡田 賢司

毎年このことからインフルエンザの季節になりました。インフルエンザが流行する前にこそ知っておきたいポイントをご説明します。

インフルエンザはどんな病気?

インフルエンザは、毎年冬～春に流行します。高熱、頭痛、筋肉痛など普通の“かぜ”に比べて強い症状が見られます。自然によくなることも多いですが、肺炎などを併発して重症化し、ときに死亡することもある病気です。

インフルエンザの予防法は?

手洗いが基本ですが、予防に最も効果が期待できるのがワクチンです。流行シーズンを迎える前の10-11月の接種をおすすめします。

(いつ、やるの?今でしょう!)

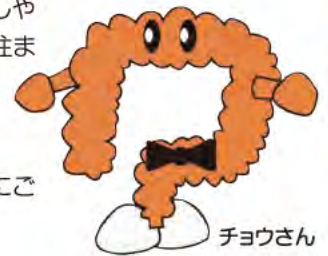
ワクチンは、13歳未満は原則2~4週間の間隔をおいて2回接種します。13歳~64歳は1回または2回かは医師と相談して決めてください。65歳以上の高齢者や60~64歳で心臓や呼吸器系、腎臓などの基礎疾患を持つ患者さんが、インフルエンザにかかると重症化しやすいとされていますので、市町村による費用補助の対象になっています。詳しくは、お住まいの市町村または医療機関にお問い合わせください。

インフルエンザはどうやって治療する?

できるだけ安静にし、十分な水分と栄養、睡眠を取りましょう。

解熱剤については、使用しない方がよいものもあります。自己判断はせず、必ず医師にご相談ください。

最近、新しい薬で治療ができるようになりました。内服薬、吸入薬(2種類)、点滴の中から、症状や年齢に応じて使い分けられています。担当医とよく相談をして、ご希望があればお伝えください。



患者待合室にて展示した陶芸部同好会の作品

福岡歯科大学陶芸部の学生が精魂こめて作陶しました。
展示期間:平成25年10月7日~12日でした。来年もお楽しみに!



ランクくん

編集後記

福岡歯科大学の教育理念は、「口腔医学」です。本院の歯科・医科連携の基盤にも「口腔医学」があります。将来歯科医師となる学生に医学の知識を植え付けてこそ、連携が円滑となり、患者様にも安心して医療を提供できると考えています。骨粗鬆症の患者様の歯科治療をする際にも、その歯科医師が骨粗鬆症のお薬について知っていることが肝要なのです。お口は健康管理の入り口でもあるのです。かの北原白秋もこう云っています。「口腔すなはち命の関門」と。(池邊哲郎)

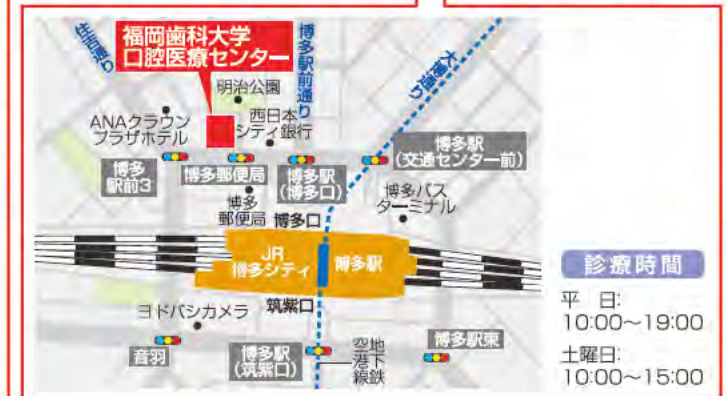
患者の皆様への権利

- ① だれもが個人の尊厳を尊重され、良質な医療を公平に安心して受ける権利があります。
- ② 患者には、病気や診療内容について納得できる十分な説明と情報を受ける権利があります。
- ③ 患者には、十分な説明と情報提供を受けた上で治療方法などを自らの意思で選択・決定する権利があります。
- ④ 患者には、診療における個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- ⑤ 患者には、ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

患者の皆様へのお願い

- ① 良質な医療の提供をうけるために、ご自身の健康に関する情報を正確に提供してください。
- ② 納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する情報と説明について十分理解できるまで質問してください。
- ③ すべての患者の皆様が等しく適切な医療を受けるために、他の患者や病院職員に支障を与えないよう配慮してください。

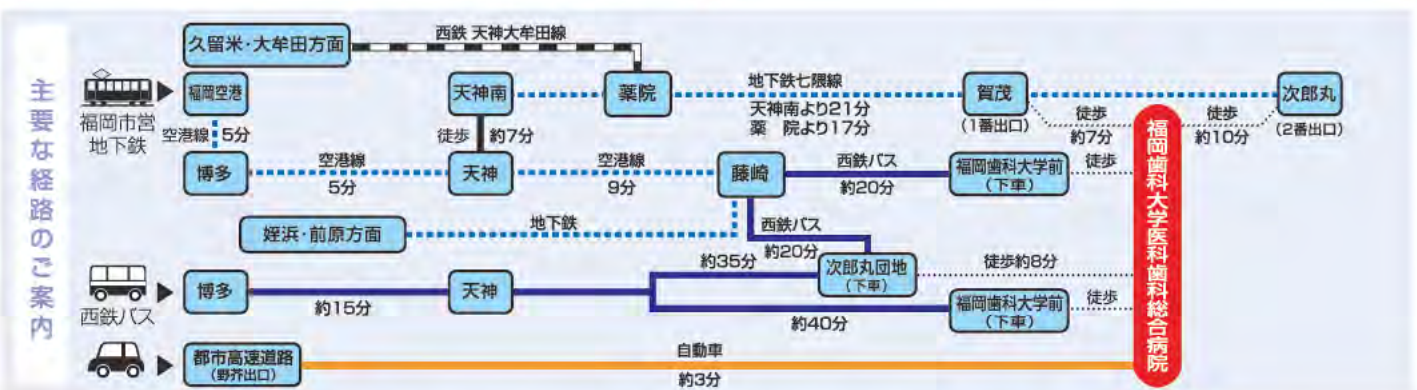
交通のご案内



P 大駐車場完備 (150台) 広い駐車場なので、待ち時間がなく駐車できます。ご利用下さい。

- 診療時間** 平日: 9:00~18:00 土曜日: 9:00~13:00
- 受付時間** 平日: 8:30~17:00 土曜日: 8:30~11:30
- 休診日** 日曜日・祝日・年末年始
- 入院患者面会時間** 平日: 13:00~20:00 休日: 10:00~20:00

- 診療時間** 平日: 10:00~19:00 土曜日: 10:00~15:00



福岡歯科大学医科歯科総合病院 〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
ホームページアドレス <http://www.fdcnet.ac.jp/hos/>

お問い合わせは
(092) 801-0411 (代)
FAX
(092) 801-0459
急患の場合は
(092) 801-0411 (代)

ご予約の変更や各診療科へのお問い合わせは(092) 801-0411代にダイヤルし、次の内線番号を教えてください。

総合歯科 127	口腔インプラント科 277	内科・脳血管・循環器・腎臓・糖尿病 203	耳鼻咽喉科 140
口臭クリニック 127	口腔外科 243	小児科・小児神経科 511	眼科 210
高齢者歯科 127	口腔顔面美容医療センター/歯科 277	心療内科 137	麻酔科(ペインクリニック) 246
訪問歯科 347	矯正歯科 344	外科・消化器・腫瘍・乳腺・肛門 205	放射線診断科 209
保存(むし歯)・歯周病科 278	小児歯科 242	整形外科 349	病棟 251
補綴(入れ歯)科 289	障害者歯科 223	形成外科・美容外科/口腔顔面美容医療センター 211	